

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	181005	事務事業名	友好都市交流事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200204	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)国際交流・多文化共生の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	地域住民	事業の目的 (意図)	友好都市相互の地域振興を図ることができ、地域生活の向上に繋がる。
事業の内容 (手段)	教育、文化、スポーツ、経済などの幅広い分野の交流について、友好都市である鹿児島県出水市と協議を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	320.0	320.0	320.0
					実績値	302.0	281.0	
					達成度(%)	94.4%	87.8%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	468	499	500	5	500
	(予算額) うち一財	千円	468	499	200	5	500
	直接事業費	千円	306	246		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	306	246			
	正職員人件費	千円	1,481	2,931			
	人工数	人	0.20	0.40	0.40		
支出コスト	千円	決) 1,787	決) 3,177				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	ツルや観光等の従来からの交流のほか、平成27年度から、青少年訪問団の相互派遣を実施した。また、平成26年度及び平成27年度は、市職員の相互派遣による人事交流を実施した。	課題・ 問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 出水市との友好関係を更に深めるためには、民間交流も含めた幅広い交流が望まれる。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業 の方向性	平成27年度から2ヶ年事業として実施した、出水市との青少年訪問団相互派遣について事業内容を見直し、その効果を今後の友好都市交流事業の参考にする。	評価 責任者 コメント	出水市との友好関係を更に深めるため、民間交流も含めた幅広い交流について検討する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
前年度どおり	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	友好都市交流事業	出水市との交流事業参加者数の増加を図る。	「花☆ワイン周南まんま市場」への出水市物産事業者等の受入や、「出水市大産業祭」への観光関係者等による出店、PR	246		0.40	
②				可			
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	184005	事務事業名	国際交流事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200204	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)国際交流・多文化共生の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	国際交流に関心のある市民(在住外国人を含む)	事業の目的 (意図)	姉妹都市との友好親善と相互理解を深めるとともに、国際化社会に対応できる人材を育成する。また、より身近に国際交流を体験できる機会を提供する。
事業の内容 (手段)	姉妹都市(タウンズビル市、デルフザイル市)との青少年による友好親善訪問団の派遣・受入のほか、市内において国際交流を体験できる機会を提供するため、国際交流サロン等を開催する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
国際交流事業参加者数	各交流事業参加者数の積上げ	人	人	目標値	1,000.0	1,000.0	1,000.0
				実績値	899.0	1,515.0	
				達成度(%)	89.9%	151.5%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	4,101	8,497	3,397	6,022	2,597
(予算額)	うち一財	千円	3,301	7,697	2,597	5,287	2,597
(決算額)	直接事業費	千円	3,265	6,723		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	2,614	6,373		デルフザイル市から青少年訪問団が派遣されるため、受入れに係る経費を計上	デルフザイル市からの青少年訪問団受入れに係る経費なし
	正職員人件費	千円	9,627	12,090			
	人工数	人	1.30	1.65	1.14		
	支出コスト	千円	決) 12,892	決) 18,813			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始時期と比較すると、様々な面において、グローバル化が進展しており、世界との繋がりがより身近になりつつある。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 姉妹都市との交流の拡充を図るとともに、国際交流サロン等運営事業については、参加者の増加やリポーターの獲得、自立的な運営主体の育成が必要である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	今後、姉妹都市交流事業の参加者の有効活用を図るとともに、国際交流サロンの更なる魅力向上により、市内における多文化共生を推進する。		評価責任者コメント	国際交流サロンの参加者数が安定していることもあり、目標を達成できている。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
前年度どおり	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	姉妹都市交流事業	姉妹都市との友好親善を図るとともに、国際化社会に対応できる人材を育成する。	・タウンズビル市へ公式訪問団及び友好親善訪問団を派遣 ・デルフザイル市青少年訪問団受入	6,112	0.95		
				可			
②	国際交流サロン等運営事業	異文化理解や多文化共生を推進する。	国際交流サロン、フェスタの開催	611	0.70		
				可			
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	184007	事務事業名	国際交流運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200204	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)国際交流・多文化共生の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	地域住民(在住外国人を含む)	事業の目的 (意図)	国際交流への関心が高まる。
事業の内容 (手段)	国際交流を推進するための一般事務		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					国際交流事業参加者数	各交流事業参加者数の積上げ	人
				実績値	899.0	1,515.0	
				達成度(%)	89.9%	151.5%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	232	423	342	307
うち一財		千円	232	423	342	307	342
(決算額)	直接事業費	千円	195	356		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	195	356			
	正職員人件費	千円	3,332	1,392			
	人工数	人	0.45	0.19	0.27		
	支出コスト	千円	決) 3,527	決) 1,748			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	近年、社会的なニーズの一つとして、国際交流への関心が高まるとともに、外国人へのきめ細やかな対応が求められている。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 日本語が不慣れな外国人に対して、行政情報や生活情報等を適切に提供する必要がある。また、英語圏以外の外国人に対する通訳が不足している。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	引き続き、外国人のための日本語講座を開催するとともに、外国人に対して必要な生活情報等を適切に提供できる方法を研究する。		評価責任者コメント	目標を達成できている。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
前年度どおり	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	国際交流運営事業	必要な情報を多言語で提供するなど、在住外国人等が生活しやすい環境をつくる。	日本語講座の実施、山口県国際交流協会負担金の支出	356 可	0.19		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	184008	事務事業名	基金管理事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課		評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200204	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)国際交流・多文化共生の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民(在住外国人を含む)	事業の目的 (意図)	国際交流への関心が高まる。
事業の内容 (手段)	国際交流基金の活用		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	—	—	—
					実績値	—	—	—
					達成度(%)	—	—	—

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	3	3	3	3	3
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
直接事業費	千円	1	1		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	0	0			
	正職員人件費	千円	370	73			
	人工数	人	0.05	0.01	0.01		
	支出コスト	千円	決) 371	決) 74			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	特になし	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 特になし
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	基金の有効活用を図る。	評価責任者コメント	

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
前年度どおり	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	基金管理事業	基金の有効活用により、国際交流の推進を図る。	大規模な国際交流事業の企画・実施	1 可	0.01		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811005	事務事業名	観光施設管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	観光施設及び利用者(観光客)	事業の目的 (意図)	豊かな自然環境と歴史・文化資源の活用を図り、周南市の観光振興の拠点として快適かつ安全に利用できるように、協定・事業計画等に基づいた適正な維持管理に努める。
事業の内容 (手段)	観光施設の管理運営を行う。 ①指定管理者による施設運営(長野山緑地公園等使用施設、鹿野地域資源活用総合交流施設、東善寺やすらぎの里) ②業務仕様書に基づく観光地(公園・登山道・施設等)の維持管理及び老朽化等に伴う修繕や整備 ③観光ルートに沿ったサイン・情報収集拠点の観光基盤整備 ④山口県観光連盟や各種協会等への賛同(負担金の支出)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
観光施設利用者数(延べ人数)	山口県観光客動態調査の対象となる観光施設(観光地を含む)		人		700,000.0	700,000.0	700,000.0
					673,021.0	656,085.0	
					96.1%	93.7%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	38,391	38,417	39,140	47,730
うち一財		千円	35,462	37,290	38,039	46,657	35,000
(決算額)	直接事業費	千円	34,871	38,975			対29年度増減理由
	うち一財	千円	31,942	37,626			対30年度増減理由
	正職員人件費	千円	8,146	6,961			東善寺やすらぎの里水道接続工事及びボイラー取替工事を実施するため。
	人工数	人	1.10	0.95	0.80		
	支出コスト	千円	決) 43,017	決) 45,936			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	豊かな自然環境と歴史・文化資源の活用等を図り、周南市の観光振興の拠点として快適かつ安全に利用できるよう整備を進めてきた。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 施設の老朽化等に伴う修繕件数の増加と多様化する観光ニーズに対応した施設運営
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	観光施設利用者へのサービス向上や景観の美化向上に努め、安心・安全な魅力ある観光地づくりを推進するため、協定・事業計画書等に基づき、適正な維持管理に努める。		評価責任者コメント	豊かな自然環境と多彩な観光資源の活用を図り、市民をはじめ本市を訪れる観光客に対して、快適性や満足度の向上を図るため、環境整備を進めていく。観光施設の経年劣化等によるイメージ悪化や安心安全への懸念がないよう施設等の効率的な運営を図る必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
東善寺やすらぎの里の水道接続工事とボイラー取替工事に伴い、臨時的経費として約1,200万円を計上したため増額となっているが、限られた予算の中で、観光客が安全安心で、快適に施設を利用できるように、適切な維持管理を実施していく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	観光施設に係る管理運営事業	観光施設を適切に維持管理することにより、観光客の満足度を高め、観光振興を図る。	老朽化した施設の修繕対応や景観の美化向上に努め、安心・安全な観光地づくりを推進する。	11,580 可	0.40		
②	指定管理者による施設運営事業	施設利用者のサービス向上と経費の効率的な活用を図る。	協定・事業計画書等に基づき、適正な維持管理業務を実施する。	23,165 可	0.20		
③	観光地等の維持管理事業	歴史や自然等の観光資源が効果的に整備され、魅力的な観光地を目指す。	業務仕様書の基準のとおり、観光地の維持管理(点検・清掃等)を行う。	4,230 可	0.35		
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811014	事務事業名	泉源管理事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	三丘温泉の泉源	事業の目的 (意図)	三丘温泉は、豊富な泉量と泉質に恵まれ多くの湯治客が訪れる温泉地である。都市部に近接した良好な立地条件と優れた交通の利便性を活かし、地域の歴史や文化、豊かな自然環境の中、幅広い年齢層に利用できる保養・療養の場としての温泉地を目指すものである。
事業の内容 (手段)	三丘温泉は、その主な泉質はアルカリ性単純硫黄泉であり、2つの泉源が利用されている。温泉の公共的利用の増進と安定的な供給を図るため、水質管理や施設設備等の保守管理を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
三丘温泉観光客数	日帰り入浴施設(1軒)、宿泊施設(2軒)の観光客数	人	目標値	120,000.0	120,000.0	120,000.0	
			実績値	113,800.0	107,972.0		
			達成度(%)	94.8%	90.0%		

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	1,569	1,610	1,500	1,520	1,500
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
直接事業費	千円	1,049	1,094		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	0	0			
正職員人件費	千円	370	366				
人工数	人	0.05	0.05	0.05			
支出コスト	千円	決見) 1,419	決) 1,460				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	三丘温泉を利用する各施設に対して安定的な供給を図るため、豊富な泉量と泉質の維持に努めている。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 老朽化に対応した管理を行っていく必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	三丘温泉国民保養温泉地計画に基づき、温泉本来の保養・療養といった目的に加え、周辺環境の保全、温泉地資源を活用した学習や体験機会のさらなる充実を図る。	評価責任者コメント	引き続き適正な管理に努める。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
三丘温泉の各施設へ温泉を安定的に供給するため、引き続き、泉源の適正な維持管理を実施していく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	熊毛地区三丘温泉源の維持管理事業	三丘温泉源を利用する各施設に対して、温泉の安定的な供給を図る。	温泉を衛生的かつ良好な状態に保つため、水質管理や圧送設備等の保守管理を行う。	1,094 可	0.05		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811023	事務事業名	国民宿舎特別会計繰出金			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	国民宿舎特別会計	事業の目的 (意図)	国民宿舎特別会計の予算健全化
事業の内容 (手段)	国民宿舎湯野荘のトイレ等給排水改修工事に要した事業費のうち、23,000千円は地方債から手当てされているが、この元金に利子1,443千円を加えた総額24,443千円は公債費として平成31年度まで特別会計から償還されることになっている。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	8,891	3,905	3,705	3,704	3,705
(予算額)	うち一財	千円	8,891	3,905	3,705	3,704	3,705
直接事業費	千円	8,390	3,404		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	8,390	3,404			
正職員人件費	千円	741	73				
人工数	人	0.10	0.01	0.02			
支出コスト	千円	決見) 9,131	決) 3,477				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	財政部局との協議により一般会計から繰出を行っている。 据置期間:平成22年度～平成24年度(6回) 償還期間:平成25年度～平成31年度(14回)		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	償還計画に基づく借入金の残高推移(3月末の未償還元金) ・H28 10,044千円 ・H29 6,728千円 ・H30 3,378千円		評価責任者コメント	償還計画に基づき繰出を行っていく。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
前年度どおり	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	国民宿舎特別会計繰出金事業	用途の明確化と経営の健全化を図る。	年次計画に基づく償還	3,404 否	0.01		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811026	事務事業名	湯野荘管理費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	08国民宿舎特別会計

事業の目的 (対象)	国民宿舎湯野荘における宿泊・休憩及び入浴利用者	事業の目的 (意図)	国民宿舎湯野荘は、周南市湯野地区の豊かな自然環境の中に建てられた公共の宿泊・休憩施設である。市民をはじめ利用者の保養・休養の場として、また、市民生活の福祉の向上や健康増進を図ることを目的として設置されたものである。
事業の内容 (手段)	湯野荘の管理事業として、修繕等により、施設の安全な維持管理を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
日帰り入浴客数	国民宿舎湯野荘における入浴場利用者数	人	人	目標値	88,000.0	88,000.0	88,000.0
				実績値	83,868.0	83,593.0	
				達成度(%)	95.3%	95.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	6,662	1,676	1,675	1,675	1,675
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
直接事業費	千円	5,160	1,094		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	0	0			
正職員人件費	千円	2,962	3,664				
人工数	人	0.40	0.50	0.75			
支出コスト	千円	決見) 8,122	決) 4,758				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	国民宿舎湯野荘は、昭和40年に市民の福祉増進及び観光事業の振興を図るために徳山市(現:周南市)が設置した「公の施設」である。現在の運営は、指定管理者制度に基づき、周南市国民宿舎運営協会が新規宿泊者の確保や利用者拡大に向けた取り組みを行っている。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・築後50年が経過し施設全体が老朽化している。 ・多様化する観光ニーズの変化により宿泊者数の減少傾向が続いている。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	民間譲渡に向けた諸課題の詳細を整理するとともに準備事務を進めていく。		評価責任者コメント	多様化する観光ニーズの変化により宿泊者数の減少傾向が続いているが、新規宿泊者の確保や日帰り利用者拡大に向け取り組んでいくとともに、経営改善施策として民間譲渡に向けた諸課題を整理し準備事務を進めていく。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
前年度どおり	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	国民宿舎湯野荘管理事業	湯野荘の安全で適正な管理を行う。	全国国民宿舎協会負担金及び国民宿舎湯野荘運営費補助金の支出	1,094 可	0.50		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811029	事務事業名	湯野荘運営費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	08国民宿舎特別会計

事業の目的 (対象)	国民宿舎湯野荘における宿泊・休憩及び入浴利用者	事業の目的 (意図)	国民宿舎湯野荘は、周南市湯野地区の豊かな自然環境の中に建てられた公共の宿泊・休憩施設である。市民をはじめ利用者の保養・休養の場として、また、市民生活の福祉の向上や健康増進を図ることを目的として設置されたものである。
事業の内容 (手段)	平成23年4月から指定管理者制度に基づき、周南市国民宿舎湯野荘の管理及び運営について周南市国民宿舎運営協会を指定し、以下の業務を行わせている。 ①国民宿舎の使用許可に関する業務②宿泊休憩等のための接遇に関する業務③国民宿舎の維持管理に関する業務④売店の運営に関する業務⑤以上に掲げるほか、市長が必要と認める業務		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
日帰り入浴客数	国民宿舎湯野荘における入浴場利用者数	人	人	27年度	88,000.0	88,000.0	88,000.0
				28年度	83,868.0	83,593.0	
				29年度	95.3%	95.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	94,776	91,116	91,005	86,667
うち一財		千円	0	0	0	0	—
(決算額)	直接事業費	千円	85,048	75,373		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	0	0		運営経費の見直しによる	民間譲渡による
	正職員人件費	千円	4,073	3,957			
	人工数	人	0.55	0.54	0.75		
	支出コスト	千円	決見) 89,121	決) 79,330			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	国民宿舎湯野荘は、昭和40年に市民の福祉増進及び観光事業の振興を図るために徳山市(現:周南市)が設置した「公の施設」である。現在の運営は、指定管理者制度に基づき、周南市国民宿舎運営協会が新規宿泊者の確保や利用者拡大に向けた取り組みを行っている。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・築後50年が経過し施設全体が老朽化している。 ・多様化する観光ニーズの変化により宿泊者数の減少傾向が続いている。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	民間譲渡に向けた諸課題の詳細を整理するとともに、準備事務を進めていく。		評価責任者コメント	多様化する観光ニーズの変化により宿泊者数の減少傾向が続いているが、新規宿泊者の確保や日帰り利用者拡大に向け取り組んでいくとともに、経営改善施策として民間譲渡に向けた諸課題を整理し準備事務を進めていく。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
施設の老朽化や旅行者ニーズの多様化により、宿泊者数が減少しているものの、利用者が安全安心で、快適に施設を利用していただけよう、適切な維持管理やサービスの提供に努めていく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	国民宿舎湯野荘運営事業	利用者のサービス向上と経費の効率的な活用を図る。	協定・事業計画書等に基づき、適正な維持管理業務を実施する。	75,373 可	0.54		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811040	事務事業名	観光振興事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民及び観光客	事業の目的 (意図)	周南市の多彩な地域資源(自然や歴史・文化等)を活かした観光やコンベンションによる交流を推進し、集客による経済効果を地域産業の活力に結び付けるとともに、にぎわいの創出や都市イメージの向上を図り本市の価値を高める。
事業の内容 (手段)	観光ニーズの多様化、旅行スタイルの変化等に対応した観光振興を推進するため以下の事業に取り組む。 ・観光ポスターやパンフレットの製作やサイン看板の整備等の観光誘客に向けた事業を実施する。 ・観光ボランティアガイドを活用した産業観光ツアーや工場夜景ツアー等の観光プロモーションを重点的に推進する。 ・下松市・光市との連携強化を図るとともに、防府市との観光連携を継続し、広域的な観光事業を展開する。 ・周南観光コンベンション協会や観光事業者と連携を強化し、広域的な観光ルートの開発や観光キャンペーンを展開する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
年間観光客数	山口県観光客動態調査に基づく年間観光客数		人		1,540,000.0	1,570,000.0	1,700,000.0
					1,541,243.0	1,571,009.0	
					100.1%	100.1%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	35,690	34,890	33,760	28,832
うち一財		千円	29,690	32,391	31,961	28,783	28,500
(決算額)	直接事業費	千円	34,416	30,925		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	28,416	30,197		29年度の観光看板作成委託事業の終了や広告料の削減による。	
	正職員人件費	千円	17,402	15,020			
	人工数	人	2.35	2.05	2.73		
	支出コスト	千円	決見) 51,818	決) 45,945			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	工場夜景の観光資源化を図り夜型観光を推進するとともに、周辺市町との協定に基づき周遊性をテーマとした観光キャンペーンを行っている。また、観光ボランティアの育成を行いおもてなし観光について取り組んでいる。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 人口減少・少子高齢化の進展や観光ニーズの多様化に対応するために、これまでの観光振興施策の磨き上げを行い、観光需要の喚起を図る。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	観光振興の施策を効果的に推進するため、周南観光コンベンション協会をはじめとした観光関連団体等と連携強化を図るとともに、周辺市町との広域的なプロモーション活動を展開していきます。		評価責任者コメント	民間団体や企業との連携強化をさらに図り、周南工場夜景などの夜型観光の推進や広域的なエリアでの観光振興事業の展開といった施策について、取り組みを進めていく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
限られた予算の中で、効果的に観光誘客を図ることができるよう、県との観光キャンペーンや近隣他市との広域観光事業、周南工場夜景などの取組みを進めていく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	観光誘客事業	効果的な観光情報の発信や受入態勢の整備といった観光誘客事業を行っていく。	・観光情報の発信 ・観光客の受入れ環境の整備・充実 ・ブレDCに関わる諸事業	12,023	0.95		
				可			
②	広域観光連携事業	関係市の自治体及び団体等が連携を深め、広域的な交流人口の増加を図る。	・周南広域(光・下松・周南)観光連携推進協議会事業 ・防府市周南市観光連携推進協議会事業	1,648	0.50		
				可			
③	工場夜景推進事業	新たな観光資源である工場夜景を活用した夜型観光を推進する。	・全国工場夜景サミットへの参加 ・「工場夜景の日」記念イベントの実施 ・旅行会社等との連携や情報発信	449	0.35		
				可			
④	周南観光コンベンション協会運営補助事業	官民連携を図り、周南地域の観光資源等の知名度向上を図る。	・「まちのポート」運営事業の拡大 ・交流人口拡大と「おもてなし」の強化	16,805	0.25		
				可			
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811045	事務事業名	コンベンション推進事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701002	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)コンベンションシティの推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	コンベンション関係者	事業の目的 (意図)	交流人口の増加を通じて、地域の活性化(賑わいの創出、地域経済の活性化など)を図る。
事業の内容 (手段)	コンベンションの誘致、受入体制の整備、アフターコンベンションの強化・充実等に取り組む。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					コンベンション参加者数	市内におけるコンベンションの年間参加人数	人
				実績値	82,824.0	61,644.0	
				達成度(%)	118.3%	88.1%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	6,414	6,434	6,357	6,064
うち一財		千円	6,414	6,434	6,357	6,064	6,357
(決算額)	直接事業費	千円	6,284	5,756		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	6,284	5,756			
	正職員人件費	千円	15,921	10,991			
	人工数	人	2.15	1.50	1.35		
	支出コスト	千円	決見) 22,205	決) 16,747			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	観光庁を中心として、国はコンベンション等のMICE推進に積極的に取り組んでおり、また、地方においても、コンベンション誘致に取り組む地域・団体が増えつつある。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 主催者に対する利便性の向上などを図るため、ワンストップ・サービスの体制づくりなど、受入体制の強化が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	(一財)周南観光コンベンション協会等と緊密な連携を図り、官民一体となった誘致活動や開催協力、おもてなし等に取り組むとともに、ワンストップサービスの体制づくりに向けた協議を行っていく。	評価責任者コメント	目標を概ね達成できている。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
前年度どおり	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	コンベンション推進事業	コンベンションの誘致	情報収集、誘致活動、開催支援、各種おもてなし対応等	5,756 可		1.50	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	811050	事務事業名	国際観光推進事業費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	海外からの観光客等	事業の目的 (意図)	海外からの観光客を呼び込むことによる賑わいの創出及び地域経済の活性化を図る。
事業の内容 (手段)	外国人の誘客活動、受入体制の整備、情報の収集及び発信等に取り組む。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	—	4,000.0
外国人観光客数	山口県観光客動態調査に基 づく年間外国人観光客数	人	—	実績値	—	3,833.0	—
				達成度(%)	—	95.8%	—

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	—	3,184	3,425	1,937
うち一財		千円	—	3,184	3,425	1,937	3,425
(決算額)	直接事業費	千円	—	3,142	—	対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	—	3,142	—	教育旅行を対象とし、国内から誘致活動に取り組む	—
	正職員人件費	千円	—	5,495	—	—	—
	人工数	人	—	0.75	0.93	—	—
	支出コスト	千円	—	決) 8,637	—	—	—

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	近年、外国人観光客は増加し、国においては訪日旅行促進事業等を実施している。また外国人観光客の多くが地方観光に高い関心を示しており、山口県においても県内市町村と共に積極的に誘客事業を展開している。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 台湾の旅行会社等とのネットワークの構築やニーズに合致した資源の磨き上げ、効果的な情報発信を研究していく必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	当面、訪日外国人数が最も多く、本市と歴史的な繋がりがあある台湾からの観光客獲得を目指し、山口県と連携した国内外での商談会参加や情報発信の強化、民間等と連携した資源の掘り起こし、受入体制の整備等に取り組む。	評価責任者コメント	国際観光の取組みは粘り強く行っていくことが大切であり、山口県や民間等による誘客事業と連携した情報発信や台湾の旅行会社等とネットワークの構築の他、ニーズに合わせた教育旅行の取組みも必要である。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
海外からの観光客獲得においては山口県等と連携・協力していくとともに、本市の強みである民泊を活かした訪日教育旅行を対象とし、国内から誘致活動に取り組む。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	国際観光推進事業	訪日外国人の誘客	モニターツアー、海外におけるPR事業、商談会への参加等	3,142 可	0.75		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	812008	事務事業名	観光行事費			
担当部・課名	地域振興部 観光交流課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	701001	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	10観光・コンベンション等による交流の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)観光交流の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	観光行事に参加する市民や市外からの観光客	事業の目的 (意図)	官民の一体的な連携により、地域の特色ある観光資源を最大限活用した観光行事を実施し、地域経済の活性化・賑わいの創出などのほか、地域への愛情や誇りの醸成を図る。
事業の内容 (手段)	観光交流人口や観光消費の拡大を図ることを目的に、下記の観光行事等に係る経費の一部を補助金として交付する。 ①冬のツリーまつりLED設置②冬のツリーまつり③サンフェスタしんなんよう④高瀬の匂をクイン祭⑤鹿野冬の火花大会⑥徳山夏まつり⑦東川ぼんぼりまつり⑧三丘温泉さくらまつり⑨周南地域産業観光事業⑩花☆ワイン周南まんま市場		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
観光行事への来場者数	開催支援を行っている観光行事への来場者数	人	人	目標値	380,000.0	380,000.0	380,000.0
				実績値	279,200.0	326,831.0	
				達成度(%)	73.5%	86.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	26,475	26,775	28,775	25,325
うち一財		千円	22,725	23,025	25,575	22,090	23,325
(決算額)	直接事業費	千円	26,464	26,775		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	22,714	25,950		周南みなとまつりを増額する一方、花☆ワイン周南まんま市場の終了や補助対象イベントの見直しを実施したため。	周南みなとまつりの補助金の増額による。
	正職員人件費	千円	7,035	6,594			
	人工数	人	0.95	0.90	0.40		
	支出コスト	千円	決見) 33,499	決) 33,369			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	観光交流人口や観光消費の拡大を図ることを目的に開催されるイベントやまつりは、その地域で生まれ、受け継がれてきたものであり、本市の歴史と文化を反映した貴重な観光資源となっている。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 多様化する観光ニーズに対して迅速に対応するとともに、市内外から選好される誘客効果の高いイベント内容や情報発信について検証を進めていく。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	趣味・レジャーの多様化や少子高齢化に対応した魅力ある観光行事として集客強化を図るため、これまでの実施内容を検証するとともに、県外からの誘客効果が高く、市民の一体感の醸成につながる新しいイベントについて検討を重ねていく。	評価責任者コメント	現在実施している観光行事について、集客力・地域経済への波及効果・市民意識の変化等の様々な視点による効果検証を実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
観光客数や経済波及効果、実施体制などにより、観光交流事業としての補助対象を整理し、見直しを行った。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	観光行事補助事業	地域の特色ある観光資源を活用し地域経済の活性化、賑わいの創出を図る。	自立的かつ持続的な観光地域づくりの推進を図るため、観光誘客に向けた取り組み(観光行事)を支援する。	26,775 可	0.90		
②							
③							
④							
⑤							